

今回の「一読あれ」

経大生はどんな本を読んでいる？～2019年度学生選書より

あっという間に8月になりましたが、まだまだコロナ禍の影響が続いていますね。図書館も部分開館という形態で限られた利用しかできなくなっています。新入生のみなさんは、まだ図書館を一度も利用したことがない方も多いのでは・・・今回の『一読あれ』は、8～9月に渡り昨年度によく借りられた学生選書を集めて紹介します。たまには家でゆっくり過ごす時間を読書にあててみるのはいかがでしょうか？

『「のび太」という生きかた【ポケット版】』 横山泰行著 726.1/Y79 2F小型本
著者の研究で大きな存在の「ドラえもん学」。ダメな子のイメージばかりののび太ですが、彼の隠れた良さを発見させてくれる、手に取りやすい1冊です。

『「すぐやる人」と「やれない人」の習慣』 塚本亮著 159/Ts54 2F和図書A
すぐ行動に移せるということは成功のカギとなりますが、無理に自分を動かすことは得策ではないようです。この本では具体例を挙げながら、その方法を教えてください。

『マンガでわかる「いつも誰かに振り回される」が一瞬で変わる方法』 大嶋信類原作・森下えみこマンガ 146.8/O77 2F和図書A
他人を気遣うことができるいい人ほど、陥りやすいことかもしれません。本来の自分を見失わないようにする方法をマンガで紹介しています。

『人生の勝算』 前田裕二著 289.1/Ma26 2F和図書A
単にビジネスでの成功を綴ったものではなく、これまで著者の歩んできた人生を振り返りつつ、同じ境遇の人たちに温かいエールを贈ってくれる本です。

『読書という荒野』 見城徹著 019.04/Ke44 2F和図書A
著者は自分と向き合い、追い込み常に戦っている。自分が自分であるために読書に没頭する。読んでいると熱量をひしひしと感じます。

『本当の自分がわかる！人生が愉しくなる！色の心理学』 佐々木仁美監修 141.21/I66 2F和図書A
普段何気無く見ている色や選んでいる色は、私たちの日常やその時の気持ちに大きく影響している。色にはさまざまな意味や効果が隠されていて、それを知れば色に対する見方が変わります。

『「話のおもしろい人」の法則』 野呂エイシロウ著 361.45/N96 2F和図書A
話が面白い人とつまらない人はどこか違うのか。相手の心を“ワシづかみ”にする話し方について、紹介してあります。

『論理的思考力を鍛える33の思考実験』 北村良子著 116/Ki68 2F和図書A
論理的思考力を鍛えるための脳の思考実験を33本ご紹介。本書を読後は考えることが面白くなります。

『目からウロコが落ちる奇跡の経済教室 基礎知識編』 中野剛志著 330/N39 2F和図書A
経済学といえば、難しいイメージはありませんか。そんな経済学を誰でも理解できるようにポイントを絞り、とても分かりやすく書かれてあり、経済学の基礎知識をまるごと学ぶことができる良書です。

『最短の時間で最大の成果を手に入れる超効率勉強法』 メンタリスト DaiGo著 379.7/D17 2F和図書A
私たちが学校で教わった勉強法は、9割が間違っている？学習したことを子供でも理解できるように説明すると自分の理解力も上がることや人に教えるつもりで覚えるなど参考になることが満載です。

3F中央ホールで展示中！

貸出できます

